

事業所名

サポートルームRoot

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

4月

1日

法人（事業所）理念		こども一人ひとりの「その子らしさ」を尊重し、安心できる環境の中で生活の土台を育て、将来の自立と社会参加につながる支援を行う。					
支援方針		○安心・安全な環境の中で情緒の安定を図る ○発達段階および個々の特性に応じた個別の支援を行う ○遊びや生活を通して成功体験を積み重ねることで、主体性の育成を図る			○見通しの持てる環境（視覚支援・構造化）を整え、安心して活動に参加できるように支援する ○保護者および関係機関と連携し、継続的かつ一貫した支援を行う		
営業時間		8時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○基本的な生活習慣（食事・排泄・着脱・手洗い）の獲得支援 ○生活リズムの安定（登所～活動～降所の流れの定着） ○安心して過ごせる環境調整（見通し提示・ルーティーン化）					
	運動・感覚	○粗大あそび（ジャンプ・バランス、体幹あそび） ○微細運動（指先操作、製作活動） ○感覚統合を意識した遊び（揺れ・触覚・固有覚）					
	認知・行動	○活動の理解を促す視覚支援（絵カード・スケジュール） ○指示理解の支援（短い言葉＋視覚指示） ○望ましい行動の強化（成功体験の積み重ね）					
	言語 コミュニケーション	○要求・意思表示の手段の拡大（指差し・サイン・簡単な言葉） ○やり取り遊び（模倣・応答・順番） ○状況に応じた言葉の使用支援					
	人間関係 社会性	○大人との信頼関係の形成 ○小集団での関わり（順番・ルール理解） ○他児との関係づくり（並行遊び→協同遊び）					
家族支援		○家庭でのかかわり方の助言 ○発達状況の共有（面談・記録） ○不安や悩みへの相談支援			移行支援	○こども園・小学校への移行に向けた支援 ○環境変化に対応するための準備支援 ○関係機関との引継ぎ	
地域支援・地域連携		○こども園との情報共有・連携 ○相談支援専門員との連携 ○医療機関・専門機関との情報共有			職員の質の向上	○定期的なケース検討 ○外部研修への参加 ○支援方法の統一とスキル向上	
主な行事等		○季節行事（制作・体験活動） ○感覚あそび・運動遊び ○園行事との連携活動					